



エコアクション21

— 環境活動レポート —



レポートの対象期間：平成27年3月～平成28年2月

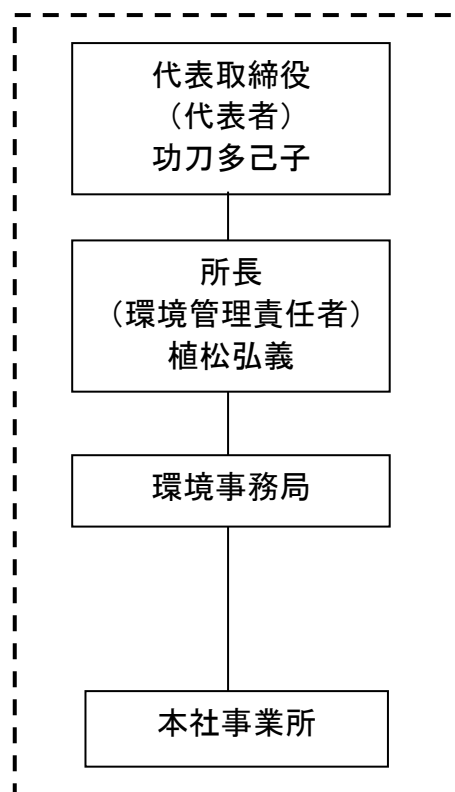
発行日：平成28年4月1日

株式会社 ゆう

組織の概要

1. 事業所名
株式会社ゆう（沼津市原1414番地の2）
2. 代表者氏名
代表取締役 功刀多己子
3. 事業活動の内容
障害者に対する訓練などの就労支援事業
4. 事業の規模
利用定員 20名
従業員(職員)数 6名
事業所床面積 300㎡
5. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 植松 弘義 (055-966-1234)
担当者 植松 弘義
6. 決算年度
3月～翌年2月

実施体制



対象範囲：全組織・全活動

【実施体制の詳細】

担 当	役割・責任・権限
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション 21 に関する代表責任者 ・エコアクション 21 実施における人材/設備/費用を用意する ・環境管理責任者の任命を行う ・環境方針の制定、改定及び全社員への周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境マネジメントシステムの承認・
環境管理責任者(所長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する ・代表者への報告 ・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理 ・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示 ・「環境活動委員会」の活動及び運営を統括する
環境事務局(総務チーフ)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション 21 における文書の作成 ・環境目標及び環境活動計画案の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック ・取り組みに必要な場合の手順書案 ・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定 ・環境負荷の自己チェック、取り組みの自己チェックの実施 ・環境活動レポートの作成
「環境活動委員会」 (職員&通所者代表)	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門における環境マネジメントの実施 ・各記録の実施 ・問題点のチェック及び予防措置の実施 ・緊急事態の試行及び訓練の実施
全職員&通所者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の確認/理解 ・各個人における環境マネジメントシステムの実施

株式会社 ゆう

環境方針

[基本理念]

当社は、障がい者に対する就労支援を行う事業所として、障がい者が作業しやすい職場環境を調えることを基本にして、常に環境の保全を意識し、環境経営を進めることにより、資源循環型社会の構築に貢献します

[行動指針]

- I 地球環境保護のための、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を実践しながら、地域社会に対する広報啓発活動を併せて推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量削減に努めます。
- II 事務用品や原材料のグリーン購入に努めます。
- III 環境活動(アルミ缶回収・古紙回収・エコキャップ[®]運動協賛・地域清掃・ボランティア自販機の設置等)を積極的に推進することを通して当事業所の、《援助もしていただくけど、私たちにも社会貢献させてください。》という経営理念の実現に努めます。
- IV 環境関連の法律を遵守します。
- V 全職員・利用者に環境に関する教育を行い、環境保全の意識を高め、環境活動を実践してまいります。
- VI 環境活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを積極的に行います。

株式会社 ゆう

代表取締役 功刀多己子 (印)

基準年度の環境負荷の見直し

項目	単位	2012 年度
		基準年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	42,068
購入電力	KWh	62,981
ガソリン使用量	リットル	5,787
軽油使用量	リットル	3910
灯油	L	336
総排水量	m ³	2,448
廃棄物排出量（焼却分）	トン	0.9
※アルミ缶回収	トン	4.1
※古紙回収	トン	66

見直した環境中期目標

環境目標は 2012 年度を基準年度とした基準年度比を示す。 二酸化炭素換算係数:0.425Kg-CO₂

項目	単位	2016 年度	2017 年度	2018 年度
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	-2%	-2%	-2%
総排水量	m ³	-1%	-2%	-2%
廃棄物排出量	トン	-1%	-2%	-2%
※アルミ缶回収	トン	+4%	+4%	+5%
※古紙回収	トン	+3%	+4%	+5%
グリーン購入（文具）	円	購入金額の70% 以上	購入金額の70% 以上	購入金額の70% 以上
エコキャップ回収	千個	+5%	+5%	+5%

2015 年度・環境目標の実績

項目	単位	目標値		実績値	評価
		比率	数値		
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	-1%	41,647	43,516	×
総排水量	m ³	-1%	2,423	2,133	○
廃棄物排出量	トン	-1%	0.89	0.3	○
※アルミ缶回収	トン	+4%	4.264	4.8	○
※古紙回収	トン	+3%	67.98	68.0	○
グリーン購入（文具）	%	-	50	44%	×
エコキャップ回収	千個	-	800	860	○

* 二酸化炭素排出量:業務の拡大に伴い化石燃料増大（横浜/鎌倉への納品請負による・・・月3回出張）

* 対策:エコドライブ強化とLED照明の導入、

* アルミ缶回収と古紙回収について、新たな協力事業者の獲得を目指す活動をし、成果があった

環境活動計画

①二酸化炭素排出量の削減

- ・全車両のエコ・ドライブの周知 [担当 植松啓一・山本俊幸]
 - a. 不必要なアイドリングの禁止
 - b. 不要な荷物を降ろす
 - c. 急発進・急加速の禁止
 - d. エンジンブレーキの積極使用
 - e. エアコンを控えめに
 - f. 使用計画的な運転(ルート)
 - g. 作業中のエアーコンディショナーの OFF
 - h. タイヤの空気圧をチェック
- ・エアコンの設定温度を夏 28℃冬 23℃に設定 [担当 村田裕美・眞野巧也]
- ・エアコン室外機の日よけ/グリーンカーテンの設置 [担当 金森君江]
- ・不要な照明の消灯 [担当 風岡敏美]
- ・スイッチオフによる待機電力の削減 [担当 村田裕美・浅石里奈]
- ・LED 照明の導入 [担当 植松弘義]
- ・クールビズ・ウォームビズを推奨 [担当 功刀多己子]
- ・低排気車両の購入を検討 [担当 植松弘義]

②排水量の削減 [担当 奈倉弘法]

- ・洗車時の節水
- ・水もれ点検の実施

③廃棄物排出量の削減 [担当 功刀多己子]

- ・コピー用紙の両面使用
- ・業務連絡に電子メールの利用など、ペーパーレスに努める

④グリーン購入の推奨 [担当 功刀多己子]

- ・文房具等の新規購入に於いてグリーン購入の実績を把握、購入を検討

⑤環境配慮型製品の製造 [担当 植松啓子]

- ・環境配慮型製品の製造について検討し推進する … 「エコたわし」「マイ箸袋」製作
※諸般の事情により、製造を中断している。

⑥「5S活動」の実践 [担当 植松弘義・植松啓一]

- ・特に「整理=不用なものを撤去する」「整頓=作業しやすいように材料や環境を調える」を徹底
- ・作業を平準化し、障がい者にも容易に作業できるよう、治具化を促進する

⑦「ゆうのエコ活動」の推進 [担当 植松啓一・山本俊幸・風岡敏美]

- ・当社独自のエコ活動を推進し、併せて地域社会との連携に努める。広報活動を推進する。
- ・「アルミ缶/古紙の回収」「エコキャップ運動への協賛」「地域清掃」「エコ自販機の設置」
- ・段ボール等紙類のリサイクル

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組内容 (2014 年度)	評価		2016 年度取組内容
①二酸化炭素排出量の削減	×	・ガソリン消費量増加などの背景から削減できず	・2016 年度は現状より少しでも削減すべく、努める
・全車両のエコ・ドライブの周知	○	・ドライバーに自覚が生まれてきた	・継続する
・エアコンの設定温度を夏 28℃ 冬 23℃に設定	○	・エアコンを点けないことも含めて、意識が高まった	・継続する
・製造工程の変更	△	・短時間での作業で済ませられないか、作業効率・製造工程の改善に努めた	・作業の工程分析を行い、工程ごとの見直しを実行していく
・不要な照明の消灯	◎	・係りを決めて、厳格に行えた	・継続する
・スイッチオフによる待機電力の削減	○	・作業終了時に、コンセントからコードを抜くよう広報した	・消防上の観点からも、より徹底継続していく
・LED 照明の導入	◎	・器具(電球)交換時に、順次LEDに切り替えていく ・実施した	・効果が期待できるので、助成金を活用して実施した
・クールビズ・ウォームビズを推奨	○	・広報し、浸透するよう努めた	・通所者の寒暖変化による体調管理に留意しながら、注意深く広めていきたい
・低排気車両の購入を検討	△	・時期がきたら検討する	・次期購入車両にて実施する
②排水量の削減	○	・前年に比較して、水道使用量を若干だが削減できた	・ささやかな改善でも、積み重ねると大きな成果となるので、継続して取り組む
・洗車時の節水	△	・水道水の出しっ放しに注意しながら作業した	・継続する
・水もれ点検の実施	○	・水道の放水量調整を実施し、出しっ放しにも防止を呼びかけた	・継続する
③廃棄物排出量の削減	○	・全社的な取り組みで成果が上がってきている	
・コピー用紙の両面使用	◎	・紙詰まりを起こすため、実行を見合わせた	・再びチャレンジする紙質を限定すれば可能か

・業務連絡に電子メールの利用など、ペーパーレスに努める	×	・外部にはFAXよりもメール連絡を重視した ・社内ではPC台数不足	・対外的には継続する ・社内ではPC台数が少ないので実行できない
・段ボール等紙類のリサイクル	◎	・社内および外部事業所の協力もいただいて、効果は非常に大であった	・社内では徹底できているが社外への呼びかけを強化していく
④グリーン購入の推奨	×	・該当商品を確認することから取り組んでいく	・広報と周知に取り組んでいく
・文房具等の新規購入に於いてグリーン購入を検討	×		・「エコマーク商品」についての認識を周知していく
⑤環境配慮型製品の製造	×	・「マイ箸袋」「エコたわし」の製作と販売に努める	・デザインの更新が不可能で当面中止する
⑥「5S活動の実践」	○	・意識づけから、環境活動に取り組みながらの実践をスタートさせた	・製造メーカーなどの来客のおめがねに叶う、作業環境の整備を行っていく
・特に「整理」と「整頓」を実践	○	・まずは基本の「整理」と「整頓」から始めた	・継続発展させる
・作業の平準化と、治具化を推進	△	・取り組み始めたばかりであり、このことの推進による環境負荷の軽減はこれからの成果による	・工程改善の専門家などのアドバイスをいただきながら、継続発展させていく
⑦「ゆるのエコ活動」の実践	◎	・全社的に取り組み、成果も確認できている	・継続発展させていく
・「アルミ缶/古紙の回収」「エコキャップ運動の協賛」	◎	・地域で協賛して下さる方々（エコサポーター）と共に推進している	・継続発展させていく
・広報活動に積極的に取り組む	◎	・いよいよ対外的な広報活動をする時期だと考える	・ホームページをリニューアルし、覗きにきて下さる方を増やす
・「地域清掃」マックスバリュとの協働にて行う	◎	・地域環境の向上に役立つ清掃活動の成果は確実に上がっている	・継続発展させていく

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用対象	法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物	沼津市・一般廃棄物処理に関する条例	廃棄物排出に際しては分別収集をしっかりと	不法投棄を行わない	16.4/01
	家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	16.4/01
	PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	16.4/01
事業者全般	環境基本法	一般的な自主努力		16.4/01
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	16.4/01
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	16.4/01
	グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	16.4/01
	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	16.4/01
	消防法	火災の予防	指定可燃物の届出	対象外

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

緊急事態の対応

年に2回、主に地震や津波などの天変地異が発生した時の避難訓練を行っています。

外部からの苦情等の受付結果

この一年間に、外部から寄せられた苦情等はありませんでした。

代表者による評価と見直し

一年間、会社をあげてエコアクション 21 に取り組み、二酸化炭素、廃棄物排出の削減の必要性を認識することができました。また、効果についても有用性を確認することができました。

取組を実施した中で二酸化炭素の削減については、今後なお削減できる余地があると考えており、さらなる取組を実施してまいります。

廃棄物については既にリサイクルを推進しているため大幅な削減は見込めないが、社員教育をさらに進めることとします。中心になってこの活動を推進している、『ウイサポートゆう環境活動委員会』は、高い意識をもって日常の環境活動に取り組んでいるところです。

この一年間の活動で特筆すべき成果として、ウイサポートゆうの環境活動の内容について広く広報できたことです。一昨年の、「第4回ぬまづエコ活動コンテスト」で最優秀賞の金賞受賞に続いて、

昨年は、環境省主催の、『環境人づくり企業大賞』にエントリーさせていただきました。結果は入賞することが叶いませんでしたが、全国レベルのコンペティションにエントリーできたことは、一つの自信につながりました。

障害をもっている私たち事業所チームが、『援助もしていただくけど、私たちにも社会貢献させてください。』とアピールしたプレゼンテーションは、きっと現代社会にある種のアピールをすることができたと確信いたします。

私たちの取り組んできた環境活動に自信をもって、さらにチーム一丸となって、この活動を推進していこうと思っています。

また、社屋屋上の、『太陽光発電』の可能性について、屋根自体の耐久性不足が判明し断念せざるを得ませんでした。しかし、「電力自由化」の法改正の流れの中で、「節電」契約を(株)JL エナジー社と締結いたしました。約5%の電気料金削減に寄与しております。

蛍光灯のLED化について国の助成金を申請した結果として、電気料金削減に顕著な効果を上げています。

当事業所の特色である、《地域を巻き込んだ環境リサイクル活動実践=ゆうのエコ活動》を、エコアクション21推進を基本理念として、次年度以降も積極的に推進していきたいと考えています。今後、取組が進んだ段階で、経営トップとして社員のモチベーションを高める制度を検討していく予定であることを申し添えさせていただきます。

平成 28 年 4 月 1 日

株式会社 ゆう
代表取締役 功刀多己子 印